

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2024 No.578

2 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2023年度 第6回理事会 開催される (Web併催)

2023年12月2日(土)午後2時より、2023年度第6回理事会が日本診療放射線技師会事務所でWeb会議システムを併用して開催されました。冒頭、上田会長よりあいさつがあり、チーム医療推進協議会として、武見敬三厚生労働大臣に医療関係職種の賃金引き上げの要望書を日本看護協会と連名で提出したこと、財源として診療報酬のプラス改定を要望していることが述べられました。

理事会の主な議題は、「令和6年度事業計画総括案」「ガイドライン」「講習会費用、開催形態の改定」「事務局の組織変更」でした。

上田会長からは、令和6年度事業計画総括案について説明があり、主な事業計画として、1.タスク・シフト/シェア推進 2.政策要望に効果のある調査活動の在り方の検討 3.性腺防護シールド廃止の周知 4.組織率向上の方策と実施 5.職域団体・全国診療放射線技師教育施設協議会との連携強化 6.分科会、委員会組織の見直し 7.生涯教育制度(ラダー)の推進 8.第40回日本診療放射線技師学術大会(第1回日本放射線医療技術学術大会)実施 9.国際事業を通じてISRRTを支援——の9項目が提示され、各項目について詳細な説明がありました。また令和6(2024)年度のスローガンとして「期待される診療放射線技師の役割に応えよう」が提案されました。審議の結果、いずれも全会一致で承認さ

れました。なお、上田会長は、修正があった場合は改めて次回理事会に提案すると述べられました。

江藤副会長からは、医師の働き方改革のためのタスク・シフト/シェアに伴うガイドライン案(CT造影検査、MR造影検査、IVR)について資料提示があり、日本医学放射線学会において全て承認されてから公開するとの説明がありました。審議の結果、全会一致で承認されました。

川守田理事からは、講習会費用、開催形態の改定について、前回理事会で承認されたe-ラーニングの無料化、クリニカルラダー、マネジメントラダー、分科会生涯教育セミナーなどの会場型開催は1科目3千円とする説明がありました。審議の結果、全会一致で承認されました。

堀住事務局長からは、事務局の組織変更について、本会の短期目標である事務局体制の強化と見直しとして「事業係長、事業係主任、総務係主任、経理係主任」の新規役職を設置することについて、事務局組織図の改定案を提示して説明がありました。審議の結果、全会一致で承認されました。

報告事項として、地域理事・各委員会などから36項目の報告がなされ、資料と共に共有されました。最後に、園田理事より今後のスケジュールが確認され、本理事会は終了しました。

詳細は、本会会誌に掲載される2023年度第6回理事会議事録(抄)をご参照ください。

令和6年能登半島地震で被災された皆さまの会費免除について

令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

現在、本会では被災地区技師会を通じて会員の被災状況の把握に努めております。

この地震により、ご自身またはご自宅が被害を受けられた会員の皆さまにおかれましては、規程にのっとり次年度以降の会費免除の申請を行うことができますので、「被災者調査回答票」に被害状況を記入の上、必要書類等を添えて所属地区技師会までご提出ください。



B03_会費等納入規程

B03-01_会費等納入に関する細則

<https://www.jart.jp/process/teikansyokitei.html>



「被災者調査回答票」

<https://www.jart.jp/process/youshiki.html>

INFORMATION

2023年度 第2回 (第52回) 放射線取扱主任者 定期講習 開催される

2023年12月15日(金)、2023年度第2回(第52回)放射線取扱主任者定期講習が三田国際ビルで開催されました。

本講習は、放射性同位元素等の規制に関する法律(昭和32年法律第167号、以下、RI法)第36条の2の規定に基づき、原子力規制委員会の登録を受けた公益社団法人日本診療放射線技師会(以下、本会)が行う放射線取扱主任者定期講習であり、RI法第34条に規定する放射線取扱主任者(ただし、許可廃棄業者は除く)、本講習会に関心のある方など、全国から幅広く28人の方々が受講されました。

講習会の内容は、午前9時30分から11時40分まで、株式会社千代田テクノル 遠藤正志先生より「法に関する課目」および「放射性同位元素又は放射線発生装置の取り扱いに係る事故が発生した場合の対応に関する課目」と題して講義が行われました。講義には未承認放射性医薬品等の二重規制状態の解消に関する内容が含まれていました。午後1時から3時10分まで、東京医科大学病院 筑間見比古先生による「放射性同位元素等又は放射線発生装置の取り扱い及び使用施設等又は廃棄物詰替施設等の安全管理に関する課目」と題する



講義が行われました。眼の水晶体の被ばくなどの職業被ばくの管理に関する内容が含まれていました。

最後に、筑間先生と本会の主任者定期講習運営委員会の小野委員、谷委員、北村委員が講師を務め、放射線安全管理における病院幹部の関わりなどについて、会場の受講者とディスカッションを行いました。この他にもさまざまな話題が挙げられ、盛会のうちに閉会しました。

2023年度 診療放射線技師基礎講習(会場型) 基礎技術コース「MRI検査」開催報告

一般社団法人三重県診療放射線技師会
副会長 山田 剛

2023年12月2日(土)、鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパスで、診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース「MRI検査」を開催致しました。本講習会は、三重県で私が理事を務めさせていただいている期間では3回目の開催となりました。

いずれの都道府県技師会でも同様ですが、近年、コロナ禍で基礎講習会をはじめとした多くの講習会・研究会自体が現地開催を見送る状況が続いていましたので、この診療放射線技師基礎講習会においても、実に約5年ぶりの現地開催となりました。さらにコロナ禍以降、関わっていただいたスタッフも様変わりしましたので、開催準備などにおいても多くの課題があったものと思われましたが無事に開催することができ、関わっていただいたスタッフの皆さまに、この場をお借りして感謝致します。

今回の講習会は、コロナ禍明けにもかかわらず69人の最終申込者があり、当日に4人の欠席者はありませんでしたが、65人(会員62人、非会員3人)というたくさんの受講者にご集まっていただくことができ、スタッフ一同、やりがいのある講習



会となりました。本講習会は、磁気共鳴(MR)専門技術者の資格取得の際の救済措置として認められた講習会に位置付けられていることを受け、三重県診療放射線技師会として県内の会員の中で誇れる講師を選定し、企画させていただきました。受講された方々におかれましても、非常に有意義となる講習会であったと認識しています。

最後になりましたが、年末のお忙しい時期に快く講師依頼を受けていただいた各先生方に感謝するとともに、三重県診療放射線技師会として、会員の要望にお応えできる企画を今後も進めていきたいと考えていますので、変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

第19回中四国放射線医療技術フォーラム (CSFRT2023) 開催報告 (ハイブリッド開催)

第31回公益社団法人日本診療放射線技師会 中四国診療放射線技師学術大会
第64回公益社団法人日本放射線技術学会 中国・四国支部学術大会

一般社団法人山口県診療放射線技師会
会長 三輪 光良

2023年11月18日(土)・19日(日)の2日間、山口市のKDDI維新ホールで第19回中四国放射線医療技術フォーラムを開催致しました。テーマを「時代を照らす放射線技術 見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」として、オンデマンド配信もあり、登録者総数は628人、現地参加は551人(会員492人、非会員29人、学生30人)と多くの方に参加いただき、久々に活気ある大会となりました。

本大会は、一般演題147題、JART会長講演、JSRT代表理事講演、特別講演、モーニングスイーツセミナー、ランチョンセミナー、JART特別企画、JSRT特別企画、市民公開講座など、盛りだくさんのプログラムとなりました。企業展示は23社の企業に最新情報を発信していただき、多くの参加者に立ち寄っていただきました。

特別講演として、山口大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座 伊東克能教授より「時代を照らす画像診断技術の進歩とともに:画像を見て考えること」と題してご講演いただきました。

JART 上田克彦会長からは「医療環境の変化と診療放射線技師」と題して、JSRT 石田隆行代表理事からは「科学技術が広げる放射線技術の未来」と題してご講演いただきました。

また業務改善推進委員会 (CS9) が企画したJART特別企画では、兵庫県災害医療センターの中田正明先生に「災害時の役割と対応—医療現場で求められる能力と対応—」と題してご講演いただき、JSRT特別企画では、「ECR参加から得られた転

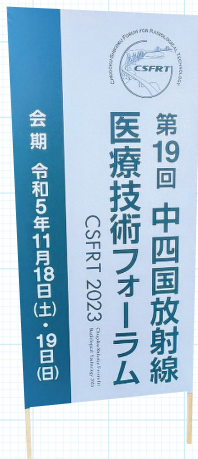


開会式の様子

機」と題して香川大学医学部附属病院の竹内和宏先生に、「学んだ教訓と得た洞察:国際学会の回顧」と題して医療法人あかね会 土谷総合病院の吉浦真之先生にご講演いただきました。

市民公開講座は、「スポーツ診療は複雑?～カギを握る整形外科医と診療放射線技師の連携～」のタイトルで、萩市民病院副院長で整形外科医の小笠博義先生にご講演いただきました。大変興味ある内容で、私自身も市民目線で拝聴させていただきました。

本大会では情報交換会も開催しました。中四国のおいしい地酒も並び、大いに盛り上がって充実した2日間となりました。関わっていただいた多くの皆さまのおかげと、心より感謝申し上げます。



第1会場



情報交換会地酒コーナー

第15回中部放射線医療技術学術大会 (CCRT2023) 開催報告 (ハイブリッド開催)

第31回中日本地域放射線技師学術大会 第57回日本放射線技術学会中部支部学術大会

公益社団法人社団法人福井県診療放射線技師会
会長 山崎 巖

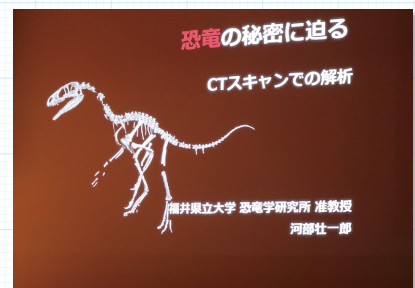
2023年11月25日(土)・26日(日)の2日間、「Image for the future ~放射線技術の革新と展望~」をテーマに、福井市のAOSSAで第15回中部放射線医療技術学術大会を開催しました。オンデマンド開催は12月5日(火)から19日(火)までとしました。参加人数は会場で463人、オンデマンドで50人程度の参加を頂きました。放射線技術の現状をしっかりと把握すること、それをもって将来の技術へとつなげていくことを考える学会としました。CCRTは中部7県の診療放射線技術学を根幹とする日本放射線技術学会中部支部と中日本地域診療放射線技師会が、合同で協力し合いながら開催する学術大会です。2008年に福井県から始まったCCRTは、今回で15回目の開催となり3巡目に入ります。この間にさまざまなノウハウが蓄積され、大会運営の共通認識の醸成とともに、双方の会員に対して有益な学術大会のかたちになりました。

特別企画として、日本放射線技術学会の石田隆行代表理事、日本診療放射線技師会の江藤芳浩副会長をお招きしました。石田代表理事からは、「日本放射線技術学会の教育と研究」を、江藤副会長からは、「2040年を見据えた事業計画とタスクシフト」のご講演を頂き、両団体の進めている核心となる事業で、私たちの将来が具体的に見えてきました。特別講演では、福井大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学の辻川哲也教授に、大学で使用されているCTやMRIの活用方法を分かりやすくお話していただきました。シンポジウムでは、近畿大学生理工学部の根本充貴先生と株式会社リジット代表取締役の山本修司先生にAIに関するご講演を頂き、人工知能の現状とこれからの活用方法を学びました。国政報告会では、衆議院議員の畦元将吾先生に活動報告をしていただき、多くの課題



開会式

を進めていることが分かりました。その他、一般演題は120題、各モダリティの研究会による教育セミナーがあり、大変興味深い内容の大会になりました。



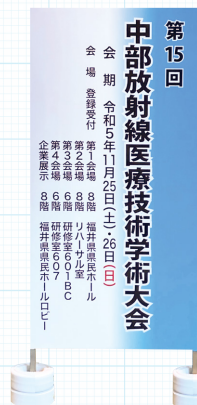
県民公開講座

学会終了後の県民公開講座には約200人の一般参加がありました。2025(令和7)年4月には福井県立大学に恐竜学部が開講されますが、その恐竜をテーマに、診療放射線技師の働き方について福井大学医学部附属病院の丸山力哉会員より、またCTを使った研究について福井県立大学恐竜学研究所の河部壮一郎准教授より、分かりやすいお話を拝聴しました。

運営に関しては、JJRSシステム、オンデマンド配信、UMINの発表登録などの運用で、当日までドキドキの連続でした。参加された方々からもコロナ前の学会に戻ったと多くの声を頂いた2日間でした。放射線技術の将来は私たちの取り組みで大きく変わります。実行委員は次のステップに挑みます。大会に関わっていただいた多くの参加者と実行委員に、感謝申し上げます。



実行委員



レントゲン週間 イベント開催される



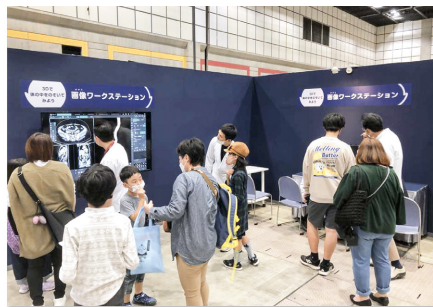
本会では、1895年11月8日のW.C.レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

SHIZUOKA

メディメッセージ2023 in 浜松

- 日 時：2023年10月28日(土)・29日(日)
- 開催場所：アクトシティ浜松
- 参加者：会員20人、一般4,500人



- ・CT検査について(ワークステーションを利用した説明)
- ・診療放射線技師のお仕事について
- ・放射線被ばくについて
- ・MRI検査について(模擬検査機器で音を体験してみよう)
- ・X線画像について(ビューワーを利用した説明)
- ・マンモグラフィーについて(専用ビューワーを使用した説明)
- ・防護エプロンでコスプレ撮影
(静岡県放射線技師会 会長 高橋 真)

SHIGA

2023おおつ健康フェスティバル

- 日 時：2023年10月29日(日)
 - 開催場所：明日都浜大津
 - 参加者：運営2人、会員24人
 - ・骨密度測定コーナー：315人
 - ・乳がん相談コーナー：145人
 - ・放射線に関する相談コーナー：5人
 - ・アンケートコーナー：315人
- 放射線に関する相談コーナーでは、福島トリチウム濃度の質問もありました。
(滋賀県診療放射線技師会 井関 忠弘)

IWATE (Web開催)

公開Web講演会

- 日 時：2023年11月1日(水)～30日(木)
 - 開催場所：岩手県診療放射線技師会ホームページ上でオンデマンド配信
 - 参加者：一般211人
- 岩手医科大学リハビリテーション医学講座 西村行秀教授に「リハビリテーション医療最前線～運動療法の効果と重要性～」と題して、一般の方を対象とした分かりやすいリハビリテーション治療に関する講演収録動画を、上記期間内に無料オンデマンド配信しました。
- 今回は日程をJART開催期間に合わせて設定しました。2022年は200視聴を超

えることができず広報の難しさを感じていましたが、今回も211人と幾分伸び悩んでいます。県内関連団体(医療系)や東北地域(診療)放射線技師会の会長間での依頼などを用いましたが、JARTからこのような周知が可能であれば、今後、周知を行いたいと思います。
(岩手県診療放射線技師会 副会長 村中 健太)

KYOTO

2023年 府民交流フェスタ

2023年11月3日(金・祝)の午前10時から午後4時まで、京都府立植物園で「府民交流フェスタ」が開催されました。当会も団体PRブースの一つとして参加しました。このイベントで京都府診療放射線技師会をアピールするために、「放射線なんでも相談コーナー」「シルエットクイズコーナー」「パネル展示」を行いました。当日は晴天で、半袖でも過ごせる夏日となりました。



イベント自体には11,853人が来園され、パフォーマンス広場に配置された京都府診療放射線技師会のブースには、「放射線なんでも相談コーナー」に14人が訪れ、「シルエットクイズコーナー」には親子70組が参加し、「パネル展示」には40人が訪れました。また日本診療放射線技師会のボールペンとクリアファイル100個ずつを配布することもできました。

今回は子供から高齢の方まで幅広い年齢層の参加者があり、レントゲン週間の期間中、特に若い世代にアピールすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

(京都府診療放射線技師会 広報渉外理事 三浦 健一)



AKITA (ハイブリッド開催)

医療放射線画像展 2023

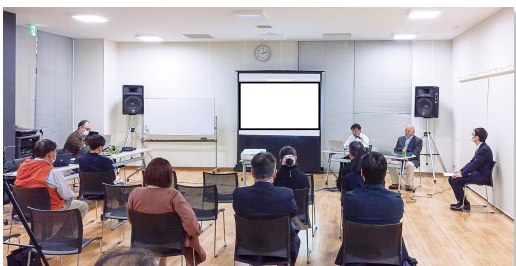
例年、レントゲン週間のイベントとして、秋田県診療放射線技師会では「医療放射線画像展」と称し、広く県民の皆さまに診療放射線技師を認知していただくため、私たちの業務に関わるポスターパネルを秋田駅自由連絡通路に展示し、併せて市民公開講座を催しております。本年度は2023年11月11日(土)に「医療放射線画像展 2023～ようこそ、リアルラジエーションハウスへ～」と題し、パネル展示(午前10時～午後3時)と、主に中高生や保護者へ向けた市民公開講座(午後2時～3時30分)をハイブリッド開催致しました。パネル展示では、今回初めてモニターを持ち込み、スライドショーで私たちの職業紹介も行いました。

パネル展示は、この日、不幸にも今までの最低気温の寒空と荒天が相まって、連絡通路とはいえ市民の皆さまは足早に通り過ぎ、なかなか足を止めてご覧いただける方が少ない印象でした。しかし、そのような中でも興味深くご覧いただける方々も一定数いらっしゃいました。「毎年やってくるよね」とお声掛けいただいたり、「去年もやってたヤツだ」と会話しながらご覧いただいたり、徐々に認知度が上がってきていると感じられる場面もありました。今年は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたこともあり、こちらからもお声掛けさせていただきましたが、がん検診や放射線治療、核医学について尋ねられる年配の方、養成校について質問される保護者の方などもいらっしゃり、スタッフからさまざまなお話をさせていただきました。中でも印象に残ったのは、お父さまと中学生と思われるお嬢さまの親子連れで、パネル1枚1枚、時間をかけて丁寧にご覧いただいております。おそらく将来の進路として考えているのだろうと想像しながらお声掛けしますと、「とても参考になりました」とお答えいただき、地道ながらも開催の意義を感じることができました。



また今年の市民公開講座は多くの方々にご参加いただけたよう、初のYouTube配信を利用したハイブリッドで開催致しました。「診療放射線技師を目指す君へ」

と「東日本大震災から12年後の今、放射線について考えてみませんか」という2つのテーマを設け、講師には川又渉副会長、今春に入職した五十嵐優樹会員および福島県立医科大学 五月女康作先生の3人をお願いし、特に、五月女先生には後者のテーマについて興味深い内容を大変分かりやすくご講演いただきました。将来、診療放射線技師を目指す学生と保護者、興味をお持ちの一般の方、および会員を含め30人余りの方々にご参加いただき、事前質問やチャット、会場からの質問とディスカッションも活発に行われ、今後の開催に当たり、有益なご意見を頂けたと感じております。終了後のアンケートでは「放射線についての理解を深めることができ、とてもいい機会になった」「大変分かりやすく、これからしっかり進学を応援していこうと思いました」「放射線のことをもっと知りたくなりました!! 今回はありがとうございました」(一部抜粋)とご評価いただき、大変うれしく思いました。ご参加いただいた方には高評価を頂いておりますので、次年度以降、もう少し参加者を効果的に増やす広報を考えていかなければと考えております。



繰り返しになりますが、地道に行っている活動が徐々に認知されてきているということが実感できるイベントになったと感じております。今後も診療放射線技師や放射線に対して、広く市民の皆さまに理解していただけるよう活動してまいりたいと思います。

今回の医療放射線画像展開催に際し、講師をお引き受けいただきました五月女先生、五十嵐会員、川又副会長、当日、ボランティアでお手伝いいただきました

理事、監事の皆さま、イベントスタッフの皆さま、準備にお力添えいただいた理事の皆さまに、この場をお借りして謝辞を申し上げます。

今後もより一層、県民の皆さまに良質な医療を提供できるよう努めてまいります。

(秋田県診療放射線技師会 担当理事 岩根 敦)

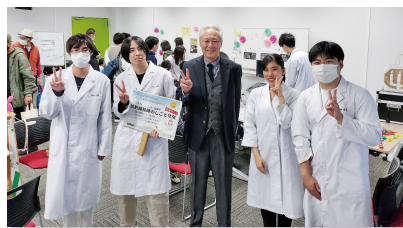
MIE

レントゲン祭

■ イベント運営担当者：

界外会長、堀会員、武藤副会長、山下会員、永澤会員、松浦教育委員、中舎会員、細川会員

2023年11月11日(土)・12日(日)の2日間、午前10時から午後4時まで、鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス3号館で「放射線技師のしごと体験」を開催致しました。当日は、鈴鹿医療科学大学の碧鈴祭(大学祭)の期間中でもあり、同大学放射線技術科学科との共同企画としてイベントを開催しました。



当日は天候にも恵まれ、2日間で小学生以下の小さなお子さまから中学生・高校生、また高齢者の方まで1,032人の一般の方に参加いただき、大盛況となりました。

ここでイベントの内容を少し紹介します。ファントムを用いた超音波検査(エコー)体験のほか、CT画像から3D画像を作成するコーナーを設け、会員が鈴鹿医療科学大学の学生と一緒に一般参加者に説明を行いました。また会場では、エックス線写真のパズルやストラックアウト、スタンプラリーなど、アトラクション的な企画が設けられ、会員と学生が協力して運営を行いました。会場では、参加者の皆さまが楽しく会話する様子が見受けられました。来年度以降もぜひ継続してこの活動を続けていきたいと考えます。

最後に、JART上田会長をはじめ役員の皆さま、諸先輩方をはじめとする県役員の皆さま、会員の皆さま、協力いただいた鈴鹿医療科学大学の学生の皆さんをはじめ、全ての皆さまに改めて感謝申し上げます、企画報告とさせていただきます。

(三重県診療放射線技師会 副会長 武藤 裕衣)



当日の様子



第3回

第1回日本放射線医療技術学術大会 (1st JCRTM)

第40回日本診療放射線技師学術大会 (40th JCRT)

第52回日本放射線技術学会秋季学術大会 (52nd Autumn Scientific Congress of the JSRT)

沖縄への道 Go To OKINAWA

運営委員 福原 恵

(一般社団法人沖縄県放射線技師会 理事)



今回は、皆さまを迎え入れます会場（沖縄コンベンションセンター：宜野湾市）と会場周辺のお勧めスポットをご紹介します。今回は、那覇市内の移動手段として利用されている沖縄都市モノレール（ゆいレール）の最寄りの駅から徒歩で行ける観光スポットと、レンタカーで行く沖縄南部地域のドライブスポットをご紹介しますと思います。

那覇市と沖縄南部の観光

那覇市には、「識名園（しきなえん）」や「玉陵（たまうどうん）」といった世界遺産がいくつかあります。その中でも有名な観光スポットの一つに「首里城跡」があり、ゆいレール「首里」駅から徒歩15分ほどで行くことができます。首里城は、2019年10月31日の火災により、正殿や北殿など8つの建物が焼失してしまいました。現在、2026年の正殿完成に向けて復元工事が進められており、施設では琉球王国の歴史や文化、復興の様子を見学できる体験ツアーもあります。ぜひ、この機会に復興の現場を見学してみたいと思いませんか？

また市内には、沖縄県民の台所として多くの人々に親しまれ、近年では国内外を問わず多くの観光客の人気スポットとなっている「第一牧志公設市場」があります。公設市場は、ゆいレール「牧志」駅から徒歩9分ほどの場所で、那覇国際通りから市場本通りへと入って100mほど進んだ所にあります。沖縄ならではの食材を数多くそろえ、中味汁やラフテーといった伝統的な琉球料理から沖縄の郷土料理などを味わえる食堂街もあります。さらにこちらでは、購入した食材を飲食店で調理してもらい食することができるシステムがありますので、普段とはちょっと違った沖縄料理を試してみたいと思いませんか？

その第一牧志公設市場へ向かう市場本通りをさらに奥へ進むと、石畳が続く「壺屋（つぼや）のやちむん通り」へと出ます。沖縄伝統のシーサーや壺などの焼き物（やちむん）を販売している土産店がたくさんあります。土産店以外にも焼物博物館やカフェもあり、工房の見学や絵付け体験をできる施設もあります。戦争の被害が少なかった壺屋は、昔ながらの風情あふれる沖縄の町並みが多く残っており、石畳が続く通りは、ゆったり散策にピッタリのスポットになっています。

続いて、沖縄南部お薦めドライブスポットをいくつかご紹介したいと思います。那覇空港から南に車で10分ほどの所にある瀬長島（せながじま）は、空港を離着陸する飛行機を間近に見られる絶景スポットとして人気のある島です。島内には、外国のリゾート地を思わせるおしゃれなカフェやセレクトショップが並ぶ「ウミカジテラス」があり、食事やショッピングを楽しめる場所となっています。国道331号線を南下し、「ひめゆりの塔」や「平和記念公園」を抜け、さらに車で15分ほど移動すると、約30万年の年月をかけて造り上げられた鍾乳洞玉泉洞（ぎょくせんどう）のある「おきなわワールド」や、その鍾乳洞が崩れてできた太古の谷「ガンガラーの谷」があります。国内最大級の鍾乳洞や豊かな自然が残る亜熱帯の森を体験できる神秘的なスポットの一つです。また近くには奥武島（おうじま）という車で渡れる小さな島があり、観光客に人気の沖縄風天ぷら屋さんがあるドライブスポットになっています。ちなみに島にあるあちこーこー（あちこーこー）の魚てんぷらは絶品です。国道331号線を北上すると、琉球王国最高の聖地、世界文化遺産の「斎場御嶽（せいふあうたき）」があり、近くの知念岬公園からは太平洋を一望することができ、神の島と呼ばれる久高島（くたかじま）を間近に見ることができる絶景スポットです。

今回は、那覇市と沖縄南部地域の観光スポットをいくつか紹介してきましたが、まだまだ、沖縄にはたくさんの観光スポットがあります。学術大会の限られた滞在時間ではありますが、ぜひ、この機会にパワースポットや癒やしのスポットへ足を運んでいただき、少しでも沖縄を体験していただければと思っています。多くの皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



やちむん通り



奥武島



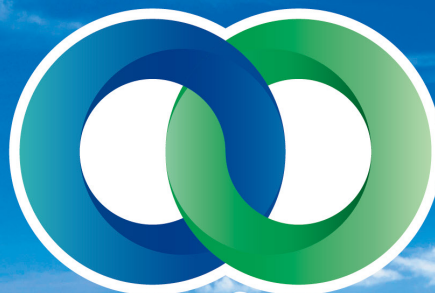
知念岬

JCRTM2024

第1回 日本放射線 医療技術学術大会

第40回日本診療放射線技師学術大会
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

会場 沖縄 コンベンションセンター
会期 2024年 10月31日(木) ~ 11月3日(日)



ゆいまーる

診療放射線技術の共創
All Japan
Radiological Technology



JART

■ 大会長：上田 克彦
■ 実行委員長：富田 博信



JSRT

■ 大会長：白石 順二
■ 実行委員長：奥田 保男

【お問い合わせ先】 第1回 日本放射線医療技術学術大会運営事務局

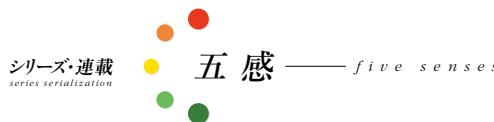
所在地：株式会社リンクージ沖縄内 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 2-8-8-2F

TEL：050-3666-2460 / FAX：098-890-1921 / E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp

HP：https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024



集団としての意義 ～より良いチームを目指して～



昨年はスポーツ界において、3月のWBCに始まりバスケットボールやラグビーのW杯などさまざまな国際大会が開催され、多くの国民が日本代表の試合に一喜一憂したのではないのでしょうか。WBCでは皆さまご存じの通り、優勝という輝かしい結果を残し、他のスポーツもわれわれに感動を与えてくれました。この活躍の裏には個々の能力はもちろんのこと、それぞれのスポーツの中で選手が集団として成熟（完成）されていたということが重要な役割を占めています。そこでキーワードとなるのが「チーム」です。

集団の呼称には「グループ」と「チーム」がありますが、どう違うのでしょうか。集団では複数の人々がどのようなかたちで働くかによって、その集団が生む成果や効果が変わってきます。能力が高いメンバーを集めた集団が必ずしもチームワークが良好に発揮され、順調に成果を上げられるとは限りません。「グループ」と「チーム」の一番分かりやすい違いは、それぞ

れの目的や目標であると言えます。「グループ」は同じ場所にいる人々の集まりであり、共通の目的や目標を持っている必要はありません。一方「チーム」は、全員が共通の目的や目標に向けて協力し、相互に補完し合うメンバーから構成される組織の形態です。それぞれメリット・デメリットはありますが、チームとしてのメリットを考えたときに、私たちが所属する日本診療放射線技師会や日本診療放射線技師連盟などは、まさにチームとして成熟しなければなりません。

目標達成効率が良いことや意見の共有ができること、さらにモチベーションの向上など、今まさに「チーム」として活動することが求められています。

今後のわれわれの未来に向けて、「グループ」ではなく「チーム」を構築し、さらに進んでいきましょう。

(文責：後閑 隆之)

2月・3月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線取扱主任者定期講習： 東京 2024年2月16日(金)
- マネジメント研修会 ・マネジメントラダーLV3： 東京 2024年2月17日(土)
- 消化管造影セミナー： Web開催 2024年2月20日(火)
- 放射線被ばく相談員フォローアップ講習会： Web開催 2024年2月23日(金・祝)
- オートプシー・イメージング(Ai)ガイドライン改訂に向けた意見交換会： Web開催 2024年2月24日(土)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修(実技研修)/業務拡大に伴う統一講習会/診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)： 本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- 告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会(e-ラーニング) 2024年2月5日(月)正午まで申し込み受け付け ※2024年2月15日(木)午前0時から3月15日(金)午後11時59分まで開催
- 医療放射線安全管理責任者講習会(e-ラーニング) 2024年2月9日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け ※2024年1月10日(水)午前0時から2月17日(土)午後11時59分まで開催
- オンラインセミナー(在宅)：本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。